

## 重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

大項目	地方公営企業などの経営改革	No.	75
中項目	下水道事業の経営改革の取組強化	担当課	経営企画課
具体的な改革項目	自立した経営の確立		
現状と課題 (これまでの取組)	<p>【現状】 一般会計繰入金 H24予算 14,408,824千円 (H23年度決算13,326,329千円) 使用料回収率 (H23年度 93.0%)</p> <p>【課題】 元金償還金の増加 (平成30年代前半に元金償還金のピーク H23 154億円 →H33 207億円) さらなるコスト削減</p>		

改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	・事業の効率化、コストの縮減、収益の確保により経営の健全化を図る。					
	取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本費平準化債の活用</li> <li>・接続率の向上による下水道使用料収入の確保</li> <li>・更なる民間委託の推進</li> <li>・下水道資源の有効活用</li> </ul>					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度		平成26年度		最終目標/ 27年度以降
			計画	実績	計画	実績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続率の向上による下水道使用料収入の確保</li> <li>・資本費平準化債の活用</li> <li>・債権徴収一元化の実施</li> <li>・高利債の借換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続率の向上による下水道使用料収入の確保</li> <li>・資本費平準化債の活用</li> <li>・債権徴収一元化の実施</li> <li>・下水道資源の有効活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続率の向上による下水道使用料収入の確保</li> <li>・資本費平準化債の活用</li> <li>・債権徴収一元化の実施</li> <li>・下水道資源の有効活用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続率の向上による下水道使用料収入の確保</li> <li>・資本費平準化債の活用</li> <li>・債権徴収一元化の実施</li> <li>・下水道資源の有効活用の検討・試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続率の向上による下水道使用料収入の確保</li> <li>・資本費平準化債の活用</li> <li>・債権徴収一元化の実施</li> <li>・下水道資源の有効活用の実施</li> </ul>		
指標	使用料回収率	93.0%	94.0%	96.3%	95.0%	98.4%	96.0% (H27年度)

(各年度10月、年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度		
進捗管理	取組の状況	上半期 (4～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続世帯数の増 4～9月 純増分 4,934件</li> <li>・下水道資源の有効活用の検討</li> </ul>	予定通り 進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続世帯数の増 4～9月 純増分3,462件</li> <li>・下水道資源の有効活用の検討</li> </ul>	予定通り 進捗
		下半期 (10～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続世帯数の増 10～3月 純増分1,725件</li> <li>・下水道資源の有効活用の検討</li> </ul>	予定通り 進捗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続世帯数の増 10～3月 純増分1,752件</li> <li>・下水道資源の有効活用の検討</li> </ul>	予定通り 進捗

(年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	世帯当たりの下水道使用料収入が減少する中、接続世帯数の増加により目標を上回る回収率とすることができた。	A	接続世帯増による収入確保や維持管理・支払利息支出の削減などにより、目標とする回収率を大きく上回ることができた。	A
	課題、今後の方針、改善事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水処理に係る繰入金の抑制</li> <li>・使用料回収率の向上</li> <li>・多額の企業債未償還残高による財政負担</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水処理に係る繰入金の抑制</li> <li>・使用料回収率の向上</li> <li>・多額の企業債未償還残高による財政負担</li> </ul>	

(平成26年度上半期終了後に実施、下半期終了後に最終確定)		総合評価			平成27年度以降
計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道処理区域の拡大に際し、新規接続世帯数の増加による下水道使用料の増収や、維持管理費の削減・高利債の償還等による支払利息の削減などにより、指標である使用料回収率は目標を大きく超えることができた。</li> </ul>			A
	課題、今後の方針、改善事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営基盤強化のための収入確保</li> <li>・経営の効率化による支出削減</li> <li>・未来へつなげる健全な事業運営</li> <li>・サービス供給体制の整備</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した経営の確立のためには回収率は100%以上となる必要があることから、更なる収入確保や支出削減が必要である。</li> </ul>